



# カリエロ 11 CAGLIERO 11



## サレジオ会 宣教ニュース

206 2026年 2月

サレジオ会宣教部門による  
サレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



### 友人の皆さん、

私たちサレジオ会にとり、最も貧しく、最も見捨てられた人々が、いちばん大切な人々です。最後の見失われた羊を探すために、99匹を後に残して行く善き牧者イエスにとってそうであるように。自分が21歳のころ、若い宣教師として西アフリカ、ガーナのスラム街で最も貧しい人々の中で暮らしたことを思い出します。私たちは路上で生活する子どもたちを集め、第一歩として、子どもたちの遊びや勉強の機会を作り、また、病気の子どものみに付き添って病院にも行きました。医薬品や医療物資を含むたくさんの支援を送ってくれた恩人の皆さんのおかげで、地元の医師たちは良い医療をほどこしてくれました。150年前、最初の宣教師を派遣したドン・ボスコのおかげで、今日、私たちは世界中で働いています。最も貧しい子どもたちを教育し福音化するだけでなく、保健の支援も行っています。そのおかげで、最も助けを必要とする人々、特に最も弱い立場にある子どもたちが医療を受けられます。保健制度は豊かな国々にしか無く、貧しい人々には手が届かないのです。

*Gora SDB*

■ 中央・北ヨーロッパ地域  
宣教促進コーディネーター  
ハンガリー管区 財務、秘書  
ゲザ・ナドゥルヴァリ修士, SDB

## ニジェール： 言葉によらずに宣べ伝える



2023年に、私たちはサレジオ会のニジェールにおける最初の宣教拠点を開設しました。「なぜニジェールなの？」とある人は尋ねました。「99%がイスラム教徒で、極端に貧しく、キリスト教徒が“迫害される”少数派の国に、どうしてわれわれが行かねばならないのか？」答えは簡単です：司教たちが私たちを招き、ドン・ボスコの教育のカリスマに備わる変容させる力を信じているからです。第二に、ニジェールの総人口の58%が18歳以下だからです。私たちサレジオ会員にとり、そこは最も肥沃な「約束の地」なのです。「ドン・ボスコはニジェールのために、ニジェールはドン・ボスコのために！」確かにそうであるにちがいません。そしてニジェールは、あらゆること：教育、職業訓練、社会事業、霊的支援を必要としています。公けにキリストを宣べ伝えることはできません、確かにそうです、でもかまいません。私たちは生きたあかしに込めて、「暗黙に」キリストを宣べ伝えます。教会を建てることも公けに宗教教育を提供することもできませんが、職業訓練校を開き、職業の世界に向けて若者を育成することによって、心の橋を架けることができます。この分野では、私たちキリスト者とムスリムは同じ言葉で話すのです。ニジェールで私たちは、**平和と寛容、対話とゆるしに向けて若者を教育する**よう呼ばれています。キリストについて語ることはできませんが、ドン・ボスコと予防教育法については大っぴらに語るすることができます。慈愛と道理の福音を宣べ伝えることができます。子どもと若者、貧しい人、病気の人、お年寄りの世話をすることができます。私たちにとって、人々との関わり方こそ、福音の第一次宣教なのです。ニジェールにおけるサレジオ会事業の鍵はこれです：言葉で宣べ伝えることなく、宣べ伝える！

■ 宣教顧問 ホルヘ=マリオ・グリサフツリ神父, SDB

### 振り返りと 分かち合いのために

- 福音宣教とは何か、今いちど考えるために、ニジェールの経験はどのような挑戦を私たちに投げかけるだろうか？
- ドン・ボスコの教育のカリスマが持つ「変容させる力」に信頼するとは、何を意味するだろうか？



● インフォ ● 総長ファビオ・アッタールド神父は、サレジオ会157回宣教団およびサレジアン・シスターズ第149回宣教団の派遣式を、2026年10月17日土曜日、ヴァルドッコの大聖堂で執り行うことを決めました。

Cagliari 11 (カリエロ11)の全バックナンバー： <http://salesians.jp/library/cariero>

# ルブンバシ ドン・ボスコの心が生きている病院



デオグラシアス神父様、ルブンバシのサレジオ会の病院では、患者のうち子どもや十代の若者の割合はどのくらいですか？ どんな病気が最もよく見られますか？

アフィア・ドン・ボスコ病院はルブンバシの市内にあるサレジオ会の医療施設です。1988年にウィリー・ボンドウエル神父、SDBによって創設されたこの病院は、救急医療や集中治療、内科、外科、産婦人科、皮膚科、物理療法、小児科、救急車による患者の搬送など、さまざまな医療を担っています。子どもや十代の若者の割合は、大人の患者に対し、約3割を占めます。最も多く診療を受ける年齢層が0歳から17歳である一方、入院する子どもは0歳から5歳の子どもたちです。最も多い病気は、呼吸器感染、下痢性疾患、マラリアです。こういったすべての症状に対し、最高水準の医療機材（検査室、画像診断、薬局）のおかげで、適切な治療が施されています。



病院の仕事のために、資格のある人材をどのように集めているのですか、また、サレジオ会員はどれほどかかわっているのですか？

雇用については、アフィア・ドン・ボスコ病院は専門の医師たちを頼りにしています。ルブンバシですでに実績のある医師たちです（大学、その他）。現在、病院には34人の専門の医師がいます。他方、職員や医療ケアの人材は、雇用試験に合格するか、2年以上の専門医療の研修を受けていなければなりません。アフィア・ドン・ボスコ病院はサレジオ会司祭たちに支えられています。司祭たちは運営における役職、病人の精神的、霊的な支え、また人生の最終段階を支える際にも重要な役割を担っています。さらに、サレジオ会員の支援があるということは、貧困家庭の子どもたち、ストリートチルドレン、その他、経済的に困窮する人々には無償で医療が提供されるということです。



これほど大変な、しばしば気持ちを落ち込ませるような仕事に取り組むエネルギーは、どこから来るのですか？

医療の仕事は多くを求められ、ストレスの多い仕事です。そのため、医療スタッフ（医師、看護師）とその他の病院スタッフは、ご聖体におられるキリストから力を頂きます。毎日24時間、ご聖体が顕示されています。実際、スタッフのほとんどはカトリック信者で、ご聖体の前でしばし祈ってから一日を始める人も多いのです。毎日、12時から17時に聖体祭儀が行われます。要するに、アフィア・ドン・ボスコ病院は、コンゴ人と移民の人々の健康に貢献するサレジオ会の医療施設なのです。子どもや十代の若者といった最も弱い患者は、特別に配慮が向けられます。



■ インタビュー： ルブンバシ、ドン・ボスコ総合診療所  
副所長 デオグラシアス・ムルフラ神父, SDB

## 子どもの年間死亡数 推計

死因	年間死亡者数推計	最も影響を受ける年齢層
新生児期、出産前後期の健康悪化	~2,300,000	1か月以下
下痢性疾患	~1,500,000	5歳以下
栄養失調（直接、間接の死因として）	~1,000,000	5歳以下
肺炎（呼吸器感染）	~900,000+	主に5歳以下
マラリア	~400,000	5歳以下
結核	~250,000	15歳以下
傷害（交通事故、溺死）	数十万	5~14歳



## 2月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

### 病（やまい）

治療法のない病に苦しむ子どもたちのために  
（教皇レオ十四世の祈りの意向）

治療法のない病に苦しむ子どもとその家族が、必要とする医療、支援を受け、決して力を落とすことなく、希望を失うことがありませんように、祈りましょう。  
（サレジオ会の宣教の祈りの意向）

ニジェール

